

特殊詐欺の発生状況（平成30年9月末） 還付金（払戻金）詐欺に要注意！

1 県内の特殊詐欺の認知状況（平成30年9月末現在）

- 被害認知件数は**40件**（前年同期比－41件）
- 被害額は**約8,460万円**（前年同期比－約7,840万円）
- 架空請求詐欺被害が最多（被害全体の60%）

2 平成30年9月中の認知状況

- 被害認知件数は**6件**（前年同月比－2件）
- 被害額は**約3,380万円**（前年同月比－約3,010万円）
- 手口別では、
 - 架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目等） 2件
 - 融資保証金詐欺 2件
 - 還付金等詐欺 2件

3 県内で発生した特殊詐欺事例の紹介（9月中）

○ 還付金（払戻金）詐欺が連続発生！

県内では、本年8月以降、還付金（払戻金）詐欺の予兆と思われる不審電話が相次いでおり、9月中は2件の被害を認知しました。

被害の手口は、市役所の職員を名乗る男から、

- ・国民健康保険や医療費の還付金（払戻金）があります

などと電話があり、携帯電話番号や利用している金融機関を尋ねられた後、銀行員を名乗る男から電話があり、

- ・還付手続きをするため、指定するATMに行ってください

などと言われてATMに誘導され、その後、相手から携帯電話で指示されるままATMを操作してしまい、お金をだまし取られたものです。

県や市町などの公的機関が還付（払戻し）手続きのために個人情報を読み出ししたり、ATMを操作させることは絶対にありません。

電話でお金のお話が出たら詐欺を疑い、家族や警察に相談しましょう。

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成30年9月末		
	男性	女性	計
～ 19	1	-	1
20 ～ 29	-	4	4
30 ～ 39	3	2	5
40 ～ 49	1	2	3
50 ～ 59	4	4	8
60 ～ 64	1	1	2
65 ～ 69	1	2	3
70 ～ 79	-	6	6
80 ～ 89	-	8	8
90 ～	-	-	-
合計	11	29	40
内65歳以上の高齢者	1	16	17

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成30年9月末 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	14
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	2
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	9
電子マネー型（コンビニで電子マネーを購入させる）	7
キャッシュカード受取型	2
収納代行利用型（コンビニ決済）	6
合計	40